

第六次羽村市長期総合計画の策定に向けた 市民意見聴取（市民ワークショップ）の結果について（概要）

第六次羽村市長期総合計画の策定にあたり、市民同士や市民と職員との対話のなかで、羽村市の“宝”や“未来に残していきたいもの（こと）”、市の強みなどを把握し、未来の羽村市の姿を検討することを目的に、一般市民向け、子育て世代向け、若者世代向けのワークショップをそれぞれ実施した。

1. 一般市民向けワークショップ

（資料1-1）

～羽村市の10年後を考える市民ワークショップ 見つけよう、あなたの理想の未来の羽村～

- 実施日時** 第1回 令和2年10月17日（土）午前10時～正午（ゆとろぎレセプションホール）
- ・場所** 第2回 令和2年10月30日（金）午後7時～9時（市役所大会議室A）
第3回 令和2年11月8日（日）午後2時～4時（市役所大会議室A）
- 対 象** ・市政世論調査対象者（1,200人・無作為抽出）
・転入者アンケート調査対象者（1,000人・無作為抽出）
・一般市民の方
- 参 加 者** 一般市民：33人（延べ）（実人数14人）
若手職員：5人（実人数）
（内訳）第1回 12人（うち若手職員1人） 第2回 13人（うち若手職員3人）
第3回 13人（うち若手職員1人） ※その他一時保育利用1人
- 検討内容** ▶ 第1回「考えよう！羽村市の“宝”や“未来に残していきたいもの（こと）”、市の強み」
・羽村市の強み（「宝・誇れるもの」「未来に残していきたいもの」）
・羽村市の弱み（「残念なところ」「未来に残したくないもの」）
・羽村市にとってのピンチとチャンス
・今後の羽村市の未来につながるキーワード
- ▶ 第2回「考えよう！10年後の羽村市の姿」
・10年後の羽村市の理想生活を考える
・まちのコンセプトを考える（「〇〇を活かして、〇〇な生活ができるまち」）
- ▶ 第3回「考えよう！10年後の羽村市の姿を目指してできること」
・羽村市の「未来のためにできること」を考える
- コーディネーター** 松本祐一さん（多摩大学経営情報学部教授）

<次ページへ>

2. 子育て世代向けワークショップ

（資料1-2）

～おしゃべり Cafe in Hamura Zoo 語ろう「羽村の宝！&10年後の羽村！」～

市内外の子育て世代の方の人気スポットである動物公園を開催場所とし、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、心地よい秋空の下、リラックスした雰囲気の中で開催した。

また、「東京で子育てしやすいまち」を推進するプロジェクトである「はむら家族プロジェクト」に位置付けて実施した。

実施日時 第1回 令和2年11月4日（水）午前10時～正午
第2回 令和2年11月8日（日）午前10時～正午 ※同一内容で実施

実施会場 羽村市動物公園芝生広場

対象 市内在住・在勤で、乳幼児～小学生のお子さんがいる方

参加者 10家族（28人）
（内訳）第1回 3家族（6人）※その他一時保育利用2人
第2回 7家族（22人）※その他一時保育利用6人

検討内容

- ・羽村の好きなどころ・残念などころ
- ・10年後の羽村について考える
 - 「こんな羽村で子育てしたい」
 - 「子どもたちが大きくなった時、羽村はこんなまちであってほしい」
 - 「10年後の羽村の姿」

3. 若者世代向けワークショップ

（資料1-3）

～オンラインで語ろう、羽村市の10年後 羽村のワカモノワークショップ～

新型コロナウイルス感染症の感染状況や、多くの大学等でオンライン授業が実施されていること、テレワークの実施が推奨されていることなど、若者世代を取り巻く状況の変化を踏まえ、ウェブ会議ツール「ズーム（Zoom）」を活用し、オンラインで実施した。

ズームでの開催に関しては、コーディネーターにご協力をいただき、実施した。

実施日時 令和2年11月18日（水）午後7時～9時
対象 おおむね10代～30代の市内在住・在勤・在学の方
参加者 5人

検討内容

- 「自分たちが10年後住みたい羽村市はどんなまちか」
 - ・羽村のイメージ
 - ・未来の理想の暮らし
 - ・羽村のイケてるところ（良いところ）、イケてないところ（良くないところ）

コーディネーター 松本祐一さん（多摩大学経営情報学部教授）